

平成29年度

聖徳太子を学ぶ連続公開講座

くわが町と聖徳太子く

平成三三（二〇二一）年の聖徳太子一四〇〇年御遠忌に向け、図書情報館では、太子にまつわる伝承などを取り上げ、その魅力を紹介する連続公開講座を開催します。
本年度は、聖徳太子が往来したとされる斑鳩と飛鳥を結ぶ「太子道」に焦点をあて、関係町村の観光ボランティアガイドの会による講演、当館館長による聖徳太子絵伝に関する連続講演などを行います。各会場では「出前図書情報館」も開催します。

2017
9/18
月・祝

要申込
先着順

第1回 特別講演

会場 奈良県立図書情報館1階交流ホール

時間 14:00~15:30 (開場・受付13:00)

定員 200名 料金 無料

参加への申し込み方法は本紙裏面をご覧ください。

内容

「太子道周辺の古代寺院跡」

大西 貴夫 氏 奈良県立橿原考古学研究所指導研究員

「太子道」とは

聖徳太子は居住地の斑鳩から都のあった飛鳥地方への約22kmを愛馬「甲斐の黒駒」に乗って通ったとされ、この道を「太子道」とよんでいます。飛鳥地方からみて斑鳩はやや西北に位置するため、筋違い道ともいわれています。講演では、太子道周辺に存在した古代寺院跡についてお話いただきます。

「聖徳太子絵伝を読む①」

千田 稔 奈良県立図書情報館長

「聖徳太子絵伝」とは

聖徳太子の生涯を絵画化した作品。現存する最古の作は延久元（1069）年に法隆寺東院の絵殿の壁面に描かれたもの。以後も聖徳太子信仰の広まりとともに多くの絵伝が制作されました。「聖徳太子を学ぶ連続公開講座」では、千田稔図書情報館長が聖徳太子絵伝を7回に分けて読み解きます。



主催：奈良県立図書情報館



明日香村・三宅町・斑鳩町・田原本町・安堵町・王寺町に
図書情報館を「出前」!

講座当日、会場前において、図書情報館の本を持ち出した「出前図書情報館」を開催。聖徳太子などの講座関連本、千田稔館長の著書をご覧ください。図書情報館利用者カードをお持ちの方は貸出可!

● 利用者カードの即日発行もします。

※即日発行には免許証・保険証など氏名・現住所・生年月日が確認できる公的証明書が必要です。

